

埋蔵文化財の展示施設整備で文化教育意識の高揚をはかり観光産業への活用はできないか

必要性を感じ補助金対応を検討中



中山 美幸議員

進め文化財の普及啓発に努める拠点が必要であり、また注目度の高い文化財を観光産業への活用も視野に入れた町づくりの政策は考えられないか。

必要性を感じている

町長

本町では、9月に神領10号古墳より武人埴輪が出土し多方面から注目を集めた。大崎町には、他にも国の重要文化財の指定を受けている横瀬古墳を初めさまざまな文化財があり、それらの文化財を通して故郷の風土がはぐくんだ先人たちの足跡をたどり故郷と共に生きてきた先人たちがどのように暮らしてきたかに触れることで故郷らしさへの認識を深め、愛着の心を育てることにつながるかと考える。

そこで、これらの文化財の整理・保管・調査研究を

ふれあいフェスタでの展示、あすばる大崎でも展示を行った。

横瀬古墳や神領古墳などの案内板・展示室の整備など国・県の補助を調査研究し観光産業活用を進めたい。

テーマを絞った施設整備を

中山議員

県内外で有数の横瀬古墳を核とした、ここでなければ無いというような目的の買い方施設、この古墳時代にテーマを絞った遺産観光的拠点施設の構築を提案し、大隅半島で遺産観光でのリーダーシップを発揮していく考えはないか。

担当職員に指示している

町長

本町は歴史ある町であり、町全域に遺跡・文化財が点在している、歴史や文化は評価されにくいですが、今歴史や文化をやっていかなければならぬ時期をむかえていると考えます。県・国の補助など相談している。担当職員にも以前指示しており、計画を提示してくれると考える。

2年間の調査結果を示せ

中山議員

2年前から計画されているとの事であるが、どのような結果が出たのか。また国・県の補助事業の調査をされたとの事だが結果についてどのような認識を持っているか。

総合的視点に立って考える

町長

平成8年に展示場・横瀬古墳の外濠復元計画があったが、現実に補助金を活用しての取り組みはしていない。武人埴輪が出土した時点で、大崎町の歴史の再認識をしなければとの考えから総合的視点に立って考えるべきと担当者と話している。

史跡ボランティアの養成はできないか

中山議員

現在実施している歴史探訪講座を発展させて、本町の歴史や史跡を案内・解

説できるようなボランティアの養成はできないか。

史跡・歴史をどう生かしていくか話し合いを進める

町長

以前はそのような方がおられたと思う。生涯学習については、いい事だと思うので取り組んでいきたいと考える。教育長・担当課長と検討する。史跡・歴史をどのように生かしていくのか、個々に話し合いを進めたい。



下堀遺跡発掘調査（岡別府）